

2016年熊本地震から防災を学ぶ



プログラムのポイント

①プログラムの狙い

阿蘇では地震活動による山腹崩壊や地すべりなどの山間地特有の現象により、道路や橋梁等の交通インフラにも甚大な被害が発生しました。数千年に一度といわれる直下型の大地震の被害の大きさや教訓を後世に伝えていく震災遺構を体感し、防災・減災への意識を高めます。

②学習内容

阿蘇大橋・主要国道R57・JR豊肥線を寸断した斜面崩落現場や大規模な地すべりが発生した高野台、旧東海大学に現れた地表地震断層などの震災遺構を見学しながら実際に被災された語り部・ガイドによる案内・体験談を聴き、自然の偉大さを肌を感じながら災害への危機管理能力を高める内容です。



プログラムの流れ

①テーマの設定

地震の被害をリアル体験して地震の恐ろしさを知る。

②事前学習

熊本地震は、地震の揺れや被害にどんな特徴がありましたか？他の地震（例：阪神・淡路大震災、東日本大震災）と比べた特徴を調べる。

③事後学習

- ◎自分が住んでいる地域にはどのような自然があり、どのような自然災害リスクがあるか、考える。
- ◎「生き残るための備え（命を守る備え）」と「生き残った後の備え」について、今からできることを考える。

④参考資料

気象庁地震データー
産業技術総合研究所活断層データー

見学のポイント

POINT

■熊本地震震災ミュージアム 体験展示施設（約50分）

大地が動くメカニズムから、熊本地震当時の各地の被災の様子、そして自然と共生するための知恵について学ぶことができます。

■震災遺構旧東海大学阿蘇キャンパス

キャンパス内に現れた地表表層断層と、被災した鉄筋コンクリート造りの旧1号館を見る事ができます。

■震災遺構数鹿流崩之碑展望所

熊本地震で最大級の斜面崩壊が発生。崩落した旧阿蘇大橋の橋桁、斜面崩壊跡、そして新阿蘇大橋を見ることができます。



熊本地震震災ミュージアムKIOKU (50分) ⇨
旧東海大学阿蘇キャンパス (20分) ⇨数鹿流崩之碑展望所 (30分)

実施概要

- 受入期間／通年 9:00～17:00
- 受入人数／20名～160名（1～4クラス）
- 実施場所／熊本地震震災ミュージアム KIOKU、数鹿流崩之碑展望所
- 所要時間／120分（バス移動10分を含む）
- 料金（税込）／小学生：1,000円／人・中高生 1,100円／人・一般 1,200円／人
※施設観覧料 学習資料、ガイド代等を含む

【問い合わせ先】

一般社団法人みなみあそ観光局 <http://kumamoto.guide/shugaku/programs/detail/410>
TEL 0967-67-2222 / FAX 096-300-6904 MAIL contact@minamiaso.info